

収支決算書(令和7年度)

記載例(2年目以降)

実施主体名 **いきいき生活サポート隊**

この金額が補助金の確定額です
24万円の概算払いを受けている場合は、差額の
15,000円を返還する必要があります

申請書の事業収支予算欄に
記載した金額と一致します

【収入】 (単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	差引増減A-B	内訳・内容
補助金(新潟市の補助金)	240,000	225,000	15,000	
利用者負担金	40,000	66,000	▲ 26,000	300円×220回
その他(寄付金等)	0	0	0	
収入合計	280,000	291,000	▲ 11,000	

【支出】 (単位:円)

収入と支出の合計は一致します

項目	予算額 A	決算額 B	差引増減A-B	内訳・内容
<補助対象経費>				
消耗品費	18,000	60,000	▲ 42,000	事務用品、作業用品等
印刷費	45,000	10,000	35,000	広報ちらし10円×1,000枚
通信費	50,000	50,000	0	利用調整用電話代
保険料	25,000	25,000	0	傷害保険、賠償責任保険
賃借料	12,000	12,000	0	従事者の定例打ち合わせ会議の会場使用料
人件費	90,000	90,000	0	サービス利用調整役 30,000円/年×3人
小計	240,000	247,000	▲ 7,000	
<補助対象外経費>				
謝礼(従事者へ)	40,000	44,000	▲ 4,000	利用者負担金より
小計	40,000	44,000	▲ 4,000	
支出合計	280,000	291,000	▲ 11,000	

<記載の手順>

- ① 支出をすべて記載します。
- ② 利用者負担金など市の補助金以外の収入を記載します。
- ③ ①から②を引きます。この金額が「市の補助金」欄に記載する金額です。